

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキチロキサトを含む農薬の総使用回数		
日本芝	葉腐病 (ラージパッチ)	400～800倍	200mL/m <sup>2</sup>	発病初期	4回以内	散布	4回以内		
		2000倍	500mL/m <sup>2</sup>						
		6.4～12.8倍	3.2mL/m <sup>2</sup>			無人航空機による散布			
		3.2～6.4倍	1.6mL/m <sup>2</sup>						
		<b>1.6～3.2倍</b>	<b>0.8mL/m<sup>2</sup></b>						
	フェアリーリング病	800倍	200mL/m <sup>2</sup>			散布			
	カーブリア葉枯病	400倍	100mL/m <sup>2</sup>			散布			
	カーブリア葉枯病 ダラスポット病	2000倍	500mL/m <sup>2</sup>			無人航空機による散布			
		12.8倍	3.2mL/m <sup>2</sup>						
		6.4倍	1.6mL/m <sup>2</sup>						
		3.2倍	0.8mL/m <sup>2</sup>						
	ダラスポット病 立枯病 (ゾニアテグライン)	666倍	200mL/m <sup>2</sup>	無人航空機による散布 散布					
		10.6倍	3.2mL/m <sup>2</sup>						
		5.3倍	1.6mL/m <sup>2</sup>						
		2.6倍	0.8mL/m <sup>2</sup>						
	立枯病 (ゾニアテグライン) 疑似葉腐病 (象の足跡)	400～800倍	200mL/m <sup>2</sup>	発病前～ 発病初期 休眠期前	4回以内	無人航空機による散布 散布	4回以内		
		1000倍	500mL/m <sup>2</sup>						
	800倍	200mL/m <sup>2</sup>	散布 無人航空機による散布						
	疑似葉腐病 (象の足跡) 疑似葉腐病 (春はげ症)	12.8倍				3.2mL/m <sup>2</sup>			
		6.4倍	1.6mL/m <sup>2</sup>						
3.2倍		0.8mL/m <sup>2</sup>							
疑似葉腐病 (春はげ症) ネクロティックリング スポット病	800倍	200mL/m <sup>2</sup>	無人航空機による散布 散布						
	2000倍	500mL/m <sup>2</sup>							
ネクロティックリング スポット病 雪腐小粒菌核病	400～800倍	200mL/m <sup>2</sup>	休眠期前 休眠期前 及び萌芽前			4回以内		散布	4回以内
	1000～2000倍	500mL/m <sup>2</sup>							
	400倍	100mL/m <sup>2</sup>							
西洋芝 (ベントグラス)	雪腐小粒菌核病	2000倍	500mL/m <sup>2</sup>	根雪前					